

# クリニカルラダー

患者とは患者・利用者のことである

ラダーのレベル到達度  育成したい能力		レベル I (1年目)	レベル II (2~3年目)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人としての自覚を持ち、自己管理ができる。</li> <li>・ 業務基準に沿って基本的看護ケアが実践できる。</li> <li>・ 患者の見方を学び、チームの一員として看護展開ができる。</li> <li>・ 民医連綱領、法人理念、看護部理念を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職業人としての自覚を持ち倫理に基づいた行動ができる。</li> <li>・ 個別的、長期的な目標や看護計画を立案し自ら実践できる。</li> <li>・ 患者を身体的、精神的、社会的にとらえ、担当看護師としての役割が發揮できる。</li> <li>・ メンバーシップが發揮できる。</li> <li>・ 民医連の運動に参加する。</li> <li>・ 多職種を理解できる。</li> </ul>
看護実践能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の医療要求に応じ基本的な人権を尊重した専門的知識・技術を用い安全安楽に看護サービスを提供できる能力</li> <li>・ 民医連の医療観をもとに看護展開できる能力</li> <li>・ 看護理念に基づいた行動ができる能力</li> <li>・ 看護者の倫理綱領に基づいた行動ができる能力</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①業務基準・手順にそって安全、安楽、確実に基本的看護技術(共通項目+各部署達成項目)が実践できる。</li> <li>②看護記録基準に基づいた記録ができる。</li> <li>③標準的な事例にたいして看護展開できる</li> <li>④患者の急変時は指示を受け行動することができる。</li> <li>⑤倫理的な問題に対して気づくことができ、相談できる。</li> <li>⑥患者の背景を地域や社会の実態に関連づけてみるができる。</li> <li>⑦疾病を生活と労働の場でとらえることができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①看護技術を患者の個性にあわせ実践できる。</li> <li>②患者・家族と目標を共有し、個性のある看護展開ができる。</li> <li>③看護記録の目的を理解し、看護実践を正確に記録することができる。</li> <li>④急変時に適切な対応ができる。</li> <li>⑤倫理綱領を学び、理解を深めることができる。</li> <li>⑥民医連の医療観にもとづく人間観・患者観・疾病観を理解できる。</li> </ol>
組織管理能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な看護を提供するために看護師に求められている責務を果たす能力</li> <li>・ 看護実践における問題解決能力(安全・感染・業務・コストなど)</li> <li>・ 連絡会の職員として民医連綱領の立場に立ち日々の実践ができる能力</li> <li>・ 地域の人々の生活と健康を守る運動を進める能力</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①社会人としての自覚をもち自己の健康管理ができる。</li> <li>②事業所の管理基準(安全・感染・労務など)にそって行動できる。</li> <li>③事業所や所属部署の役割を知る。</li> <li>④チームメンバーの役割を理解し行動できる。</li> <li>⑤所属部署の目標達成に向けて行動できる。</li> <li>⑥コスト意識を持って、ものを大切にする。</li> <li>⑦報告・連絡・相談ができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①事業所の管理基準(安全・感染・労務)を理解し行動できる。</li> <li>②職場やチームの目標達成にむけてメンバーシップを發揮できる。</li> <li>③報告・連絡・相談ができる。</li> <li>④社会保障活動・共同組織活動に積極的に参加する。</li> <li>⑤連絡会の事業所概要を知る。</li> </ol>
人間関係形成能力 (コミュニケーション能力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民主的集団医療チームの一員としてのマネジメント能力</li> <li>・ 医療・看護・介護を共同の営みとして追求する能力</li> <li>・ 相手に合わせた適切な対応ができる能力</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①接遇：医療スタッフとしてふさわしい身だしなみ、節度ある態度で業務にあたっている。</li> <li>②社会人としてのマナーを知り、同僚・患者・家族と良好な人間関係がとれている。</li> <li>③看護実践の遂行や自己の成長のために、同僚・先輩・上司の支援を受けられることができる。</li> <li>④自分の感情・思考・行動を振り返り自分の傾向を知ることができる。</li> <li>⑤自己のメンタル管理ができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①接遇：患者・家族に対して相手の心情に配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で対応ができています。</li> <li>②自分の意見や主張を筋道立てて相手に説明できる。</li> <li>④不意の問題やトラブルが発生したときに適切な初期対応ができる。</li> <li>⑤自己のメンタル管理ができる。</li> </ol>
自己学習・教育・研究能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常に学ぶ姿勢を忘れず看護に必要な知識・技術を主体的に学ぶ能力</li> <li>・ 後輩育成に有効な関わりができる能力</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①根拠を持った看護をするための基礎的な知識を学ぶ。</li> <li>②研修や部署の学習会に主体的に参加し、学習することができる。</li> <li>③指導を受けながら、業務に関する新しい知識・技術の習得に取り組むことができる</li> <li>④自己評価や他者評価をふまえ、自己の学習課題をみつけることができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①自己評価や他者評価から得た自己の課題について積極的に取り組んでいる。</li> <li>②自ら業務に関する新しい知識・技術の習得に取り組むことができる。</li> <li>③院内外の研修に自主的・積極的に参加し学習する。</li> <li>④指導を受けながら、学生実習や看護体験に協力することができる。</li> </ol>
学習文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民医連綱領</li> <li>・ 民医連新聞</li> <li>・ いつでも元気</li> <li>・ 看護者の倫理綱領</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民医連綱領</li> <li>・ 民医連新聞</li> <li>・ いつでも元気</li> <li>・ 看護者の倫理綱領</li> </ul>	

レベルⅢ(4～5年目)	レベルⅣ(6～10年目)	レベルⅤ(11年目以上) 職責以外の達人スタッフがめざす姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民医連の看護の『3つの視点・4つの優待』を理解し実践できる。</li> <li>・ 職場内でリーダーシップを発揮できる。</li> <li>・ 仕事に対して常に問題意識を持って取り組む。</li> <li>・ 後輩・学生の指導ができる。</li> <li>・ 自己の看護観を深める。</li> <li>・ 数年後の自分の目標を定め、計画的に自己啓発に取り組む。</li> <li>・ 民医連の運動を理解し行動する。</li> <li>・ 多職種との連携・共同ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門を越えた医療チーム内でリーダーシップが発揮できる。</li> <li>・ エビデンスに基づき、個々に合わせた看護実践ができる。</li> <li>・ 看護の質の向上のためにテーマを持って意識的に取り組む。</li> <li>・ 後輩育成に教育的な視点で関わり、職場づくりに参加する。</li> <li>・ 事業所内での部署の立ち位置が分かり、部署目標達成のための役割を果たすことができる。</li> <li>・ 民医連運動に主体的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護に関する新しい技術や知識の吸収に努め、科学的根拠をもって仕事のコツや勤を後輩に伝授できる。</li> <li>・ 後輩を教育的に育てるとともに職場作りの要となる。</li> <li>・ 組織的な視点で問題提起を行う事ができる。</li> <li>・ 地域や連絡会内で各事業所が果たす役割を理解し、組織目標達成のために役割を果たすことができる。</li> <li>・ 医療・保健に関連する社会情勢に関心をもち積極的に得ようと努力する。</li> <li>・ 民医連運動に率先して行動できる。</li> </ul>
<ol style="list-style-type: none"> <li>①患者とその家族の身体的、精神的、社会的ニーズを統合的にとらえ、適切な看護の提供と評価ができる。</li> <li>②複雑な問題を持つ患者にも実践可能な看護計画を立てられる。</li> <li>③民医連の看護の視点で看護展開ができる。</li> <li>④患者の急変を判断し対応できる。</li> <li>⑤退院調整に向けて関連専門職種との連携がとれる。</li> <li>⑥倫理的視点を持ち看護実践できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①患者を身体的・精神的・社会的にとらえ予測される問題を明らかにし、看護展開できる。</li> <li>②各部署での緊急事態(急変、事故etc)にリーダーシップを発揮し初期対応ができる。</li> <li>③各事業所・部署の看護の質の向上のために取り組める。</li> <li>④倫理的感性を高め看護実践できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①科学的根拠に基づいた技術を持ち新しい知見や技術についても学ぶことができる。</li> <li>②困難を抱える患者にも、かかわりの糸口を見出し、総合的な看護提供ができる。</li> <li>③倫理的感性を高め看護実践できる。</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>①問題意識を持って業務にあたり、問題解決に向けてリーダーシップを発揮できる。</li> <li>②問題を発見した際、改善案を提示することができる。</li> <li>③報告・連絡・相談ができる。</li> <li>④看護実践を経済的視点から考察できる。(診療点数・医療材料・マンパワー・時間・情報など)</li> <li>⑤社会保障・共同組織活動に主体的に参加する。</li> <li>⑥チーム医療の構成員としての役割を理解し協働している。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①師長・主任を支えて職場作りの要となれる。</li> <li>②管理者不在時の代行ができる。</li> <li>③報告・連絡・相談ができる。</li> <li>④民医連綱領の立場に立ち看護実践に引き寄せて考えられる。</li> <li>⑤社活活動・共同組織活動に主体的に参加できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①民医連綱領を理解し、看護実践に生かせるよう率先して行動できる。</li> <li>②師長・主任を支えて職場作りの要となれる。</li> <li>③報告・連絡・相談ができる。</li> <li>④地域・友の会とともに、住みよい町づくりに積極的に参加する。</li> <li>⑤所属を超え、看護部や病院から求められる役割、成果の間われる責任の重い役割を遂行できる。</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>①自己の感情をコントロールでき、苦手な相手とも目標達成のために必要な関係を保つことができる。</li> <li>②メディエーションの考え方を学び実践につなげられる。</li> <li>③自己のメンタル管理ができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①トラブル発生時、解決に向けての対応ができる。</li> <li>②自己の感情・思考・行動を振り返り自分の傾向を知ることができる。</li> <li>③人間関係を建設的に築くことができる。</li> <li>④自己のメンタル管理ができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①自分の感情・思考・行動を振り返り自分の傾向を知ることができる。</li> <li>②自らの発言・行動の重みを意識しロールモデルになることができる。</li> <li>③困難な問題に対しても、問題解決に向けて必要な調整、説得、交渉ができる。</li> <li>④自己のメンタル管理ができる。</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>①後継者育成に積極的に関わることができる。</li> <li>②院内外研修に自主的・積極的に参加し伝達し、実践に生かすことができる。</li> <li>③業務に関連する得意な分野を持つことができる。</li> <li>④定期的に自己の看護の振り返りや看護研究に取り組み、自己研鑽に努めることができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①日常的な学習習慣が身についている。</li> <li>②部署の看護力量の向上と自己啓発のために学習を継続できる。</li> <li>③後継者の成長を支援できる。</li> <li>④定期的に自己の看護の振り返りや看護研究に取り組み、自己研鑽に努めることができる。</li> </ol>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民医連綱領</li> <li>・ 民医連医療</li> <li>・ 民医連新聞</li> <li>・ いつでも元気</li> <li>・ 看護者の倫理綱領</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民医連綱領</li> <li>・ 民医連医療</li> <li>・ 民医連新聞</li> <li>・ いつでも元気</li> <li>・ 看護者の倫理綱領</li> </ul>	